

仕 様 書

1. 本地区の工事仕様書は広島県土木工事共通仕様書(令和4年8月)(以下「共通仕様書」という。)及び日本水道協会発刊の水道工事標準仕様書(2010)(以下「標準仕様書」という。)による。
2. 工事施工にあたり、設計書・図面及び仕様書について疑義を生じたときは監督員に協議し指示を受けること。
3. 受注者は、本工事の施工方法及び作業工程並びに図面の作成を行う。また必要な仕様書などについては現場内に2部以上用意すること。
4. 工事関係区域内の地元周知,交通規制及び安全施設等は、受注者において責任を持って対応すること。また、関係区域内における一般車両の通行車線及び歩行者通路については、常に維持補修を行い円滑な通行を確保すること。(必要に応じて夜間照明等設置すること。)
5. 工事期間中に通行止めを実施する場合は,関係機関及び地元住民と十分協議すること。また実施1週間前には予告看板等でわかりやすく第三者に周知すること。(関係機関及び地元住民には,必要に応じて個別にビラ等を配布して,周知を徹底すること。)

6. 現場内の作業においては、施工計画書に示す安全管理の指針とその方法に基づいて、万全の配慮のもとに安全な施工を行わなければならない。工事区域はもとより、関係道路沿線は常にパトロール及び維持補修を行い、地域住民や一般交通への安全を十分図ること。
7. 工事期間中、工事現場内やその運搬経路の途中で、必要な保安措置を怠ったために第三者などに被害を与えた場合は、受注者の責任により解決するものとする。
8. 本工事の工期は、検査期間として14日間を見込んでいる。
9. 河川漁業に影響を与える恐れのある工事については、工事着手前に濁水対策施設等の施工について、漁業組合の同意を得て、その写しを監督員に提出すること。